

マーケットの動き（2020年4月13日～4月17日）

先週の国内債券市場は、金利が上昇しました（債券価格は下落）。市場参加者のテレワーク増加により、流動性が低下した状態が続くなか、政府による国民一人当たり10万円の支給案が浮上したことや、株高基調が続いたことから、金利は緩やかに上昇する展開となりました。

投資環境見通し（2020年4月）

長期金利は上下に振れやすい展開

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大に対して、各国中央銀行による積極的な金融緩和政策が行われています。ただし、日銀は副作用に対する懸念から、マイナス金利の深掘りを見送っています。世界的な景気悪化は不可避の状況下で、今後は財政政策が打ち出されると考えられます。長期金利は0%近辺を中心としつつ、上下に振れやすい展開を予想しています。

| | 4月17日 | 変動幅（騰落率） | | | |
|-------------------------|--------|----------|--------|--------|-------|
| | | 前週比 | 1カ月前比 | 6カ月前比 | 1年前比 |
| 10年国債利回り（日本、%） （変動幅） | 0.00 | 0.01 | 0.02 | 0.15 | 0.02 |
| NOMURA-BPI総合 （騰落率） | 387.49 | ▲0.28% | ▲0.59% | ▲1.36% | 0.12% |

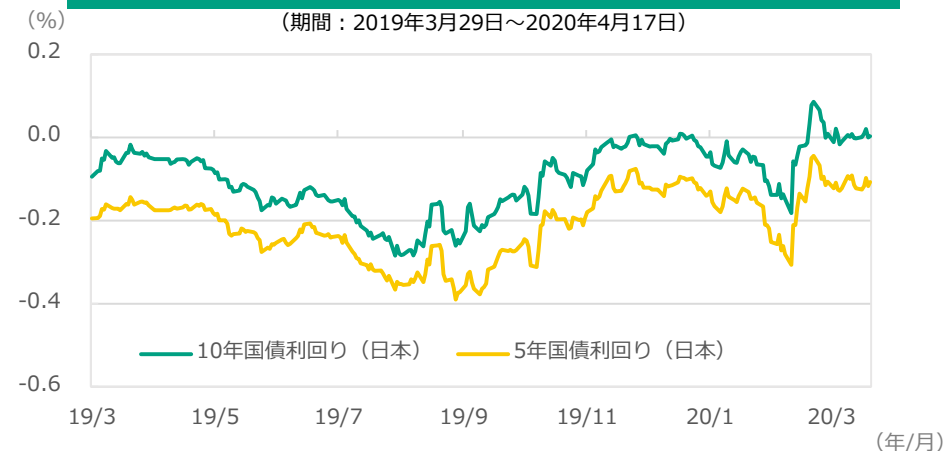
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202004_outlook.pdf

日本国債利回りの推移

（期間：2019年3月29日～2020年4月17日）



野村BPI総合指数の推移

（期間：2019年3月29日～2020年4月17日）



※2019年3月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなされるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>